

「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」の日本における展開案
(意見募集)

2014年7月メルボルンにおける国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)総会及び国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)総会において採択された「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」は、各国および世界の各地域で展開して良いとされています。日本では社会福祉専門職団体協議会4団体及び日本社会福祉教育学校連盟が日本としての展開を作成することを決定し、ナショナル定義検討ワーキンググループを2015年7月に立ち上げ、検討を重ねてきました。3月13日に日本社会福祉学会関東部会研究集会の場で一次案を提示し、シンポジウムを通して多くの方から意見を聞きました。それらの意見をふまえて、今回意見募集を行う修正版(4月14日版)を作成しました。

当修正案は各団体で意見募集をすることとしております。みなさまからの積極的な意見をお待ちします。

<意見募集する内容>

「グローバル定義の日本における展開案」について意見をお寄せください。

<送付方法>

- ・本協会アドレス(jasw@jasw.jp)もしくはFAX(03-5913-8872)にお寄せください。
- ・「日本ソーシャルワーカー協会-事務局宛」でお願いします。
- ・タイトルを「日本における展開案に関する意見」とお書きください。
- ・氏名及び所属、都道府県協会に加入の場合は協会名もお書きください。

FAXの場合は連絡先をお書きください。

<締切>

2016年9月30日(金)

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義（確定版）

ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。ソーシャルワークの理論、社会科学、人文学、および地域・民族固有の知¹を基盤として、ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける¹。

この定義は、各国および世界の各地域で展開してもよい¹。

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の日本における展開案

(2016年4月14日版)

日本におけるソーシャルワークは、伝統や思考形式のうえに、欧米から学んだソーシャルワークを融合させて発展してきた。現在の日本の社会は、高度な科学技術を有し、めざましい経済発展を遂げた一方で、世界に先駆けて少子高齢社会を経験し、個人・家族から政治・経済にいたる多様な課題に向き合っている。また日本に暮らす人々は、伝統的に自然環境との調和を志向してきたが、他のアジア太平洋諸国と同様に多発する自然災害へのさらなる対応が求められている。

これらに鑑み、日本におけるソーシャルワークは以下の取り組みを重要視する。

- ソーシャルワークは、人々がその環境と相互作用する接点に働きかけ、日本に住むすべての人の健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を実現し、ウェルビーイングを増進する。
- ソーシャルワークは歴史を認識し、多様な文化を尊重した実践を展開しながら、平和を希求する。
- ソーシャルワークは人権を尊重し、年齢、性、障がいの有無、国籍等にかかわらず、生活課題を有する人たちが「絆」を実感できる社会の創造と社会的包摂の実現に向けて関連する人々と協働する。
- ソーシャルワークは、すべての人々が自己決定に基づく生活を送れるよう権利を擁護し、必要な支援が切れ目なく利用できるシステムを構築する。

※「アジア太平洋地域における展開」は現在検討中です。2016年世界合同会議（韓国）で採択される予定です。